



【くまもとDX推進コンソーシアム登壇】 「デジタルど根性なくしてAI共創なし！」 アネシスが語る、生成AI導入を成功に導くDX方程式

2025年7月16日（水）に熊本城ホール2Fシビックホールにて開催されるくまもとDX推進コンソーシアム主催イベント『生成AIがもたらす新時代～今こそ知るべき活用ノウハウ～』に熊本県企業の事例紹介として株式会社アネシス（熊本市東区長嶺南）が登壇いたします。
また同日イベントにてブースを出展いたします。

■登壇の背景

アネシスは、本セミナーの開催主である「くまもとDX推進コンソーシアム」の加盟企業として、これまでもその活動に積極的に参加してまいりました。今回の登壇は、同コンソーシアムの事務局である株式会社肥後銀行様と熊本県との協議の中で、弊社のDX推進における実績を評価いただき、実現したものです。

【くまもとDX推進コンソーシアムとは】

くまもとDXコンソーシアムは、「くまもとDXグランドデザイン」で描いたビジョン実現に向け、デジタル化とDXの取組みを促すための産学行政が連携していくための枠組みです。県内の企業、組合、団体、教育機関、行政機関、金融機関など、多様な組織が実践を通して、共に学び合い、切磋琢磨していく共創を推進しています。熊本県企画振興部デジタル戦略局デジタル戦略推進課が「くまもとDX推進コンソーシアム運営事務局」として運営を行っています。

■講演内容の紹介

【講演のテーマ】

『デジタルど根性』なくして『AI共創』なし！アネシスが実践で掴んだDX成功の方程式

【講演メイントピック】

熊本の住宅会社が明かす、生成AI導入を成功に導く「実践的DXの方程式」

<サブトピック>

- なぜAI導入は失敗するのか？DXの次に来る「AIの谷」とその克服法
- ツールから「仲間」へ。
AIの社内浸透を加速させる逆転の発想「インナーブランディング」とは
- AI時代の主役はベテラン社員。経験と勘を「最強の武器」に変えるAI活用術

■登壇者の紹介

木下 裕之

株式会社アネシス 経営戦略本部 DX戦略部 部長



【略歴】

熊本県熊本市出身

大学卒業後、都内でエンジニアとしてのキャリアをスタート。
Uターンイベントでの出会いを機に株式会社アネシスの企業文化に感銘を受け、入社。

IT専門部署をゼロから立ち上げ、現在は7名のチームを率いる。

社内のITインフラ管理やシステム開発、全社的なDX戦略の策定・実行までを統括。その知見は社外からも高く評価されており、熊本経済同友会や公益財団法人熊本県移植医療推進財団をはじめとする企業・団体へのDXコンサルティングも手掛ける。

DXやAI活用をテーマにしたセミナーでの登壇実績も多数。

また、ITの専門性を軸に人事・教育領域（HR戦略部）も管掌するほか、経営方針を策定する「事業戦略グループ」など、複数の事業・委員会に参画し、会社の成長を多角的に牽引している。

【今回の登壇におけるメッセージ】

私自身、もともとはアナログな世界が好きな人間です。だからこそ、最新技術を一方的に導入するのではなく、現場で働く一人ひとりが大切にしてきた経験やお客様への想いに、徹底して寄り添うDXを推進してきました。AIという新たなツールを真の味方にするためには、その土台となるDXを着実に進める粘り強さ、いわば「デジタルど根性」が欠かせません。

今回のセミナーでは、私たちが試行錯誤の末に掴んだ「成功への方程式」を具体的にお伝えします。皆様がこれまで紡いでこられた大切な価値を、AIと共に未来へつないでいくための、確かなヒントをお届けできれば嬉しいです。

■関連リンク

- ・くまもとDXコンソーシアム主催イベント

『生成AIがもたらす新時代～今こそ知るべき活用ノウハウ～』

<https://kumamotodx.jp/event/post-12805/>

<会社概要>

会社名 : 株式会社アネシス

所在地 : 〒861-8039

熊本県熊本市東区長嶺南8丁目8 - 55

設立 : 1994年7月7日

代表者 : 代表取締役 加藤 龍也

資本金 : 3000万円

事業内容 : 熊本、福岡エリアで宅地分譲に強みを持ち住宅用宅地と建売住宅を提供
設計士と直接打合せが可能な注文住宅ブランドアーキハウスや自然素材を活用したミニマルデザインの注文住宅など
日本レジリエンス大賞受賞

このリリース・取材に関するお問い合わせ

株式会社アネシス

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南8丁目8 - 55

担当：松下（マツシタ）

TEL：090-1294-3167 MAIL：koya.matsushita@anesis.co.jp